

越前海岸ワーケーション 体験レポート

《1日目》

■「海の幸 食処 えちぜん」で海鮮丼ランチ

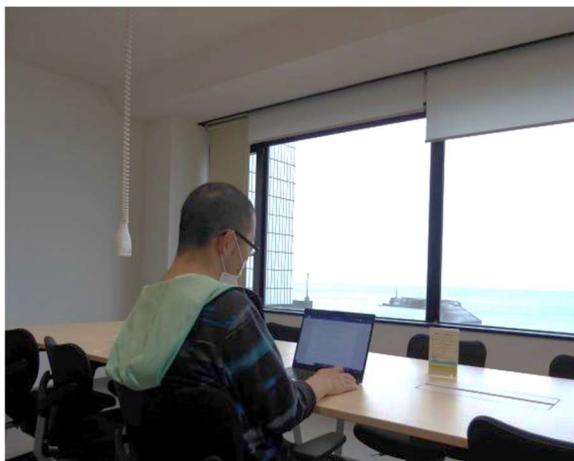
福井に到着後、まずはランチ。定食と海鮮丼の美味しさに感激。地元の方にも人気の店らしくカニを注文している方が多かったのですが、お手頃な定食メニューもたくさんありました。席の間隔もゆったりしていてコロナ対策も万全。ゆっくりできました。



■「越廻サテライトオフィス」でテレワーク

お腹がいっぱいになったので、海沿いのサテライトオフィスでリモートワークを行いました。都心では絶対に考えられない、「目の前が日本海」のオフィス環境。有線／無線のインターネットが完備されており速度にはストレスを感じませんでした。

その後、ふるさと資料館まで散歩して少し息抜き。所々で水仙の花が咲いており、見ているだけで気持ちがリフレッシュしました。



■海が見える温泉体験（越前水仙の里温泉 波の華）

溜まっていた仕事も順調に片付いたので、お風呂タイムへ。日本海へ沈む夕日を見ながら、長旅と仕事の疲れが癒やされ、完全にリラックスできました。

■農家民宿「へいよもん」にて夕食＆宿泊

その後、農家民宿「へいよもん」に宿泊。リビングの薪ストーブが圧倒的な存在感！ 北陸ならではの新鮮な海鮮のお刺身と、地元で捕れたイノシシ焼きをいただき、早めに就寝しました。

《2日目》

■昆布巻つくり体験（こしのくに里山再生の会）

お正月も近いので、おせち料理の1つ「ニシンの昆布巻き」を教えていただきました。

折り紙大好きな娘@保育園児も、どんな料理が完成するのか興味津々。

この後、自分でつくった「柔らかく美味しく煮えた昆布巻きを完食」しました。



■薪割り体験（こしのくに里山再生の会）

「ストレスを抱えている男性にオススメ」なプログラムです。

近場で伐採した木だけでなく、廃屋から出た木も有効利用して薪をつくっているとの事でした。

下の写真では専用の機械を使用して薪を割っていますが、体験として斧を使用して1本だけ薪割りを行いました。想像していたよりも簡単には割れず、薪割りが大変な重労働だと改めて痛感しました。翌日、軽い筋肉痛になりました。



《3日目》

■ 桑地区「三里浜オリーブ畠」見学

桑地区の三里浜オリーブ畠を見学。強風と雪で天気があまり良くない中、羊たちがお出迎えしてくれました。

桑地区では、農業経営者の高齢化と若者の農業離れを打破するために、地域住民、地区内外からの協力者と連携しながら、3年前からオリーブ栽培を始めたそうです。収穫祭や植樹祭等のイベントもあるそうで、いつか参加してみたいと思いました。

昼食は名物の「越前おろし蕎麦」を佐野温泉にて堪能。



■醤油搾り蔵見学体験（岩尾醤油醸造元）

創業明治7年！昔ながらの製法で醤油をつくっている岩尾醤油さんを訪ねました。

知っているようで知らなかった醤油のできるまでを丁寧に教えていただきました。

醤油の原材料はたったの3つ。大豆、食塩、小麦だそうです（麹だと思っていました・・・）。

醤油の製造工程を見学した後は、実際に自分でも醤油を濾す体験ができました。その後、子どもが描いた絵をオリジナルラベルとしてプレゼントしていただき、良い記念になりました。

市販の醤油を含め、いろいろな醤油のテイスティングができましたが、岩尾醤油さんがいかに丁寧に醤油を作っているのかがわかり、帰りに1本購入しました。帰京してから使うのが楽しみです。



■温泉（国民宿舎鷹巣荘）

天候不良のため、露天風呂が使用中止だったのが残念でしたが、源泉かけ流し 100%の柔らかいお湯に一日の疲れもすっかり癒やされました。



ワーケーション参加者へのアドバイス

あくまで私の個人的意見です。

- ・「体調を万全に整えて」から、ワーケーションに臨んでください。

→冬の北陸は天気や気温が変わりやすく、また風も強いので、思った以上に身体に負担がかかります。レッグウォーマー、カイロなど体温調節ができるものを持参したほうが良いと思います。

- ・冬の移動では、冬用タイヤは必須、4輪駆動車がおススメ。

→山間部では一晩で結構な量の雪が降り積もることがあります。(2輪駆動の)普通の自動車では登れない坂や前に進めない道でも、4輪駆動車であれば安心して運転できます。
(とはいって無敵ではないので、余裕をもった安全運転を心掛けてください。)
冬用タイヤ(もしくはチェーン)は必須です。

- ・お酒が呑めるのであれば、いろいろな銘柄を是非お試しください。

→福井だけでなく北陸全域は、「日本有数の酒処」。造り酒屋も多く、また個性豊かなお酒づくりをしているので、自分好みの銘柄を見つけてみてはいかがでしょうか。
今回お会いした方々にオススメの銘柄を聞きまわりましたが、皆さん、それぞれ違う銘柄をオススメされました。

ワーケーション施策に関するフィードバック

今回経験させていただいたことは、都会での生活では得られないことが多く、越前の里山や海がもたらす恵み、豊かさ、そして厳しさを垣間見ることができました。移住はハードルが高いですが、1年のうち何日かを滞在する2拠点居住生活というのは、おもしろいかもしれません。

「ワーケーション」は初めての経験でしたが、想像以上にリフレッシュできて、仕事も扱りました。今年もwithコロナの生活が続くと予想されるので、また、このような機会を持ちたいと思います。

ただ、一部の高齢者の中には、ワーケーションの存在を知らず、東京ナンバーの自動車を見て不安を持ったのでは?と感じることもありました。福井市からも、公的機関(例えば公民館や図書館など)で、ワーケーションの存在をアピールしていただければと思いました。